

(ご参考：9/16) 経済関係ニュースレター（在シアトル総領事館）

ワシントン州日系企業・団体・レストラン関係者の皆様

在シアトル日本国総領事館経済班です。

本ニュースレターでは、当地の日系企業・団体、レストラン関係者の皆さまを含む在留邦人の方々へ、当地経済や日米関係等のニュースを「経済関係ニュースレター」として配信するものです。今後の配信を希望されない場合は、件名に「ニュースレター配信解除」と記入の上、こちらまでメールを返送ください。

本日の参考情報を以下のとおりお知らせします。

このニュースレターでは、多くの方にご利用いただける有益な情報の提供があった場合、情報元を示して掲示しています。なお、このことは、総領事館として、情報元の団体・個人をいかなる意味でも宣伝・推薦するものではないことを申し添えます。

本ニュースレターを追加で受け取りたい方が周りにいらっしゃいましたら、[こちらの登録フォーム](#)をご紹介ください。また、当地日系企業等に周知できる有益な情報などございましたらお知らせください。館内で確認し、公平・中立の観点から適切なものを本ニュースレター等で共有させていただきます。

在シアトル総領事館では別途、月2回の英語ニュースレター“From Japan to the Northwest”を配信しています。こちらでは日本に関する政治・外交等の情報や当館の活動などを発信しています。登録及び過去のアーカイブは[こちら](#)から。

## 1. 経済再開、地域経済関連ニュース

### (1) COVID-19 非常事態宣言と緊急事態命令を10月31日までに解除

インズリー州知事が先週発表した緊急事態宣言解除に関する詳細や、ワシントン州におけるパンデミックの要点をまとめた年表などは[こちら](#)から。

### (2) インズリー知事、9月中旬にワシントン州貿易団を率いて北欧諸国を訪問

インズリー州知事は9月13日から23日にかけて、ビジネス、教育機関、政府の代表者と共に、海運、クリーンテクノロジー、5G分野のビジネス関係の拡大に向け、フィンランド、スウ

エーデン、ノルウェーを訪問する。リサ・ブラウン州商務局長は、「北欧のパートナーとの覚書に記載された戦略的パートナーシップを強化し、気候変動などの社会的課題を解決するために共に行動する機会である。」と話している。(9/8 付け[インズリー州知事室プレスリリース](#))

### (3) 米国経済動向と賃金インフレ

米国連邦準備銀行は、金融政策におけるインフレへの対処の指標として住宅コストを注視しており、賃金コスト領域が重要な指標となっている。7月までの1年間で6%上昇した家賃のインフレ率は、減速の兆しを見せている。アナリストは、家賃のインフレ率は来年初めに約 7%に達し、2024 年には 4.5%まで下がると予想しているものの、依然としてパンデミック前の水準を上回ることになる。(9/12 付け[シアトルタイムズ記事](#))

### (4) 米国鉄道労働者のストライキは、バイデン政権の仲介により回避

米国鉄道労働者のストライキ問題について、バイデン大統領は 15 日、鉄道労働者との暫定的な合意がなされたと発表した。

米国では長距離貨物の 5 分の 2 と輸出品の 3 分の 1 が鉄道で輸送されているが、国内の鉄道労働者数万人によるストライキが金曜日に始まる可能性が指摘され、すでにパンデミックなどで困難に直面している国内のサプライチェーンへの深刻な混乱が懸念されていた。国際機械工労働組合第 19 地区は水曜日に、組合員のうち 4900 人が、すでに組合が鉄道会社と交渉していた暫定契約を拒否したことを明らかにした。鉄道会社、労働者、連邦政府当局の間の複雑な協議の中心となっている 12 組のうちの 1 組である機械工組合は、交渉担当者が会社とより良い合意に達する時間を与えるため、組合員が 9 月 29 日までに仕事をストップすることはないだろう、と話していた。(9/14 付け[シアトルタイムズ記事](#)、9/16 付け[ジェットロビジネス短信記事](#))

### (5) シアトルの企業のサプライチェーン問題

シアトルローカルの大手 Ivar's Soup Company 社によると、運賃の安定化などサプライチェーンの混乱は緩和されたものの、原材料価格は依然高く、コーンスターチなどの必須品を含め、定期的に入手困難な品目もあるという。海運コストは年初から 20%低下し、ピュージェット・サウンドにおけるシアトルやタコマの入港待ちの貨物船の停滞は、ほぼ解消された。しかし、港と倉庫を結ぶトラックのドライバー不足や鉄道の容量不足など、地元特有の難問は依然残っている。昨年空のコンテナ不足問題は解消されつつあり、ワシントン州の輸出業者、特に農産物生産者の遅延が少なくなった。今後は燃料価格の下落により、国内トラック輸送のコストダウンが期待されている。(9/9 付け[シアトルタイムズ記事](#))

### (6) ワシントン州の 2022 年の交通事故死者増加率は全米最大級

2022 年上半期のワシントン州の交通事故関連死亡者数は 327 人で、2021 年上半期と比較し 31%増加した。この増加率は全米の州の中で 6 番目に高く、同州の 2020 年の交通事故死者数は 546 人で、2019 年の 516 人から 5%増加、2021 年の 643 人は前年比 18%増、全米の増加率の 2 倍となっている。パンデミックの最初の年は、道路を走る人が減ったにもかかわらず、スピード違反に関連する事故が増えたため、交通事故死が増加していた。専門家は、パンデミック終了後は死者が減少すると予想していたが、実際にはそうはなっていないことが明らかとなった。(9/13 付け[シアトルタイムズ記事](#))

#### (7) ワシントン州、今年の山火事は軽め

ワシントン州天然資源局は、今年のワシントン州内の森林火災件数と焼損面積をもとに、過去 10 年間で 3 番目に軽い森林火災シーズンだったと発表。また、涼しく湿った秋の天候が近づいているため、ワシントン州西部ではこれ以上煙や火災が増えることはないと予想されている。スティーブズパス付近で発生したボルトクリーク火災により、周辺地域では週末避難勧告が出されたが、消火活動は海からの涼しい空気によって順調に進んでいる。(9/13 付け[シアトルタイムズ記事](#))

#### (8) スターバックスの「再改革」計画

12 日にシアトルで行われた株主総会で、スターバックスは「再改革」計画の詳細を発表し、店舗の自動化や新しい設備、セキュリティ、新しい会員向けプログラムなどに 4 億 5000 万ドルを投資することを明らかにした。しかし、この計画の影で、全米の店舗従業員による労働組合の動きが活発化している。会場の外で抗議していた従業員によると、同社は従業員を解雇するなど反組合同的な姿勢を続けているとのこと。同社は今後 3 年間に米国内で 2,000 店舗の新規出店を計画しているが、そのほとんどがドライブスルー、ピックアップ専用、デリバリー店舗になる見込み。パンデミックによる消費者行動の変化もあり、従来の座席がある形態のカフェは減少し、従業員の労働力削減のため、自動コーヒーマシンが人気のドリンクを作るようになる。(9/13 付け[シアトルタイムズ記事](#))

#### (9) オレゴン州での温室効果ガス排出量増加は、アマゾン社等のデータセンターの設置が影響との指摘

9/10 付け[シアトルタイムズ記事](#)によれば、オレゴン州東部のある電力会社では、2010 年以降、メガワット時あたりの二酸化炭素排出量が 543%増加している。この主な原因は、過去 10 年間にデータセンターを設置したハイテク企業（主にアマゾン）の需要を満たすべく、より排出量の多いエネルギー源を使用したことによるとされている。

## (10) その他、ジェトロビジネス短信記事より

- 9/16 付け [米ロサンゼルス港、ゼロエミッショントラック導入に向けてインセンティブ資金提供開始を発表](#)
- 9/16 付け [8月の米国向け海上コンテナは前年同月比0.7%減、日本発は荷受け地ベースで0.2%増](#)
- 9/15 付け [バイデン米大統領、デトロイトモーターショーでEV普及への取り組み強調](#)
- 9/14 付け [バイデン米大統領、国内バイオ産業振興の大統領令に署名](#)
- 9/13 付け [ジェトロ、「米国西海岸港湾の最新状況と労使交渉の行方」セミナー開催](#)
- 9/13 付け [丸紅、北米の自動車関連事業で戦略的提携の覚書締結](#)

## 2. COVID-19 感染状況・ワクチン関連情報

### (1) 州内の感染状況 ([ワシントン州保健局ウェブサイト](#)より)

感染数 (10万人当たり)	89.1 (相当程度) (8/28~9/3の7日間平均。前週比-15.5)
新規入院者数 (10万人当たり)	5.7 (9/1~9/7の7日間平均。前週比+1.3)
死亡数 (10万人当たり)	0.63
新型コロナウイルス患者の病床占有率	8% (中程度) **

\* 10万人当たりの感染数が0~9.99の場合「低い」、10~49.99の場合は「中程度」、50~99.99の場合は「相当程度」、100以上の場合は「高い」と分類されている。

\*\* 病院占有率が5%未満の場合「低い」、5%以上10%未満の場合は「中程度」、10%以上15%未満の場合は「相当程度」、15%以上の場合は「高い」と分類されている。

### (参考) キング郡の感染状況 (キング郡ウェブサイト ([COVID-19 コミュニティレベル](#)、[COVID-19 ダッシュボード](#))より)

感染数 (10万人当たり)	91.2 (9/5~9/11の7日間。前週比-6.8)
入院数 (10万人当たり)	3.2 (9/4~9/10の7日間。前週比-0.5)
死亡数	2 (9月15日時点での過去7日平均。)
新型コロナウイルス成人患者の病床占有率	4.6% (9/8~9/14の7日間平均。前週比-1%)
新型コロナウイルスコミュニティレベル ***	<u>低い</u>

\*\*\* CDCのガイドラインに基づく分類。新規感染数と病床占有率のデータを基に、「低い」「中程度」「高い」の3つに分類される

## (2) ワシントン州保健局が家庭での COVID-19 検査と報告に関するガイダンスを更新

ワシントン州保健局は現在、自宅での COVID-19 検査結果が陽性だった場合、Say Yes! COVID Test プログラムで配付されている検査キット以外のものを使用した場合でも、同テストのデジタル・アシスタントを通して陽性であることを報告するよう住民に要請している。なお、自宅検査キットを使用した際の陽性報告は義務ではない。以前は、陽性の検査結果を報告したい場合、ワシントン州保健局の COVID-19 ホットラインに連絡するよう指示されていた。また、自宅検査で陽性結果が出た住民は、スマートフォンに追加できる無料ツール WA Notify (ワシントン州接触通知) を通し、COVID-19 に接触した可能性が利用者に匿名で警告を送ることが可能。  
([ワシントン州保健局](#))

## (3) 州内の一部大学でワクチン・クリニックを開設

ワシントン州保健局は、Power of Providers (POP) イニシアチブと共同で、新型コロナウイルスのワクチン・クリニックを州内の大学で開設することを発表した。日時と場所は次のとおり。  
([ワシントン州保健局](#))

- ・9月23日 9時から13時 セントラルワシントン大学
- ・9月23日 10時から14時 イースタンワシントン大学
- ・10月3日 10時から14時 ワシントン大学 シアトルキャンパス
- ・10月4日 10時から14時 ワシントン大学 タコマキャンパス
- ・10月5日 10時から14時 ワシントン大学 ボセルキャンパス
- ・10月6日 14時から18時 ワシントン州立大学
- ・10月21日 11時から15時 セントラルワシントン大学

## 3. 総領事館からのお知らせ

### (1) (再掲) 数次有効の短期滞在ビザ受付開始のお知らせ

現在、全ての外国籍者は再入国の場合を除きビザの取得が必要ですが、今般、商用目的や、日本人の配偶者及び子のビザ申請に関し、数次有効の短期滞在ビザの申請が可能になりました。詳細は、外務省 HP「[数次有効の短期滞在ビザ \(ビザ免除国・地域籍者\)](#)」をご覧ください。

外務省 HP(日本語) : <https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/visa/tanki/multipleentry.html>

々 (英語) : [https://www.mofa.go.jp/j\\_info/visit/visa/short/multipleentry.html](https://www.mofa.go.jp/j_info/visit/visa/short/multipleentry.html)

なお、数次有効の短期滞在ビザは、JAPAN eVISA サイトを通じてのオンライン申請はできません。申請は[郵送または領事館へのドロップオフのみ](#)となりますのでご注意ください。

参考 : [Visiting Japan and Visa](#)

**(2) 館用運転手・官房業務補佐 (Driver/Administration Assistant) の募集 (応募締切：9月30日(金)まで)**

在シアトル総領事館では、館用運転手を募集します。ご関心のある方は、[こちら](#)の募集案内ページをご確認の上、9月30日(金)までに必要書類を送付ください。

**4. (再掲) イベント情報**

**(1) 在シアトル日本国総領事館・シアトル日本商工会(春秋会) 経済・文化部会共催セミナー「アメリカ金融経済の動向と日本・日系企業とのビジネス」**

本年6月、日本とワシントン州との間の経済及び貿易関係に関する協力覚書が更新され、日・ワシントン州間のビジネス関係の促進が期待されます。一方で、世界的なインフレを受け、米国の金利政策に注目が集まっており、また、これらの動きは為替変動にも反映され、日米間のビジネスに影響を及ぼしています。本セミナーでは、金融に焦点を当てたアメリカ経済の動向を日本語でご説明し、さらには日本・日系企業とビジネスを行う際のポイントを英語でご紹介します。講演会の後には、講師を交えた交流会を催します。

本セミナーでは、日本語または英語の翻訳字幕を同時進行で表示します。

日 時： 2022年9月23日(金) 午後5時～7時

- ・講演会： 午後5時～6時
- ・交流会： 午後6時～7時

会 場： 総領事公邸

参加費： 会員 35ドル、非会員 50ドル (手数料別)

申 込： 参加には事前申し込みが必要です。申し込みのない方の参加はお断りしております。

申し込みは[こちら](#)から (申込期限： 2022年9月16日(金)まで)

**(2) 海外子女教育振興財団主催・海外巡回相談会**

公益財団法人 海外子女教育振興財団では、在留邦人の皆さんからの要望にお応えする形で、国際基督教大学(ICU)高等学校、同志社国際中学・高等学校と共に北米4都市にて対面型の相談会を実施することになり、当地シアトルでも9月20日に四つ葉学院にて開催されます。海外子女教育振興財団教育アドバイザーによる教育相談(上記2校以外の学校に関するご質問にも回答)や、帰国後の英語保持に関するご相談にもお答えします。

日 時： 9月20日(火)17:30-20:00

場 所： 四つ葉学院

料 金： 無料 (要申し込み)



申し込み： シアトル会場のお申し込みは[こちら](#)。

編集後記：

先日の Labor Day Weekend にモンタナ州まで足を伸ばして Glacier National Park へ行きました。ハイキングやマクドナルド湖でのカヤックを楽しみました。氷河によって削られたロッキー山脈の山や谷、道路脇を流れ落ちる滝の数々と綺麗な湖、マウンテン・ゴートやビッグホーン・シープ、グリズリー・ベアーなどの野生動物や様々な種類の花が咲き乱れる景色は、長いロードトリップの疲れを忘れさせてくれました。今年はそろそろ、短いシーズンが終わってしまっていますが、来年以降、機会があれば、訪れてみてはいかがでしょうか。

\*\*\*\*\*

(参考：在シアトル日本国総領事館)

- ・ [新型コロナウイルス関連情報](#) (全般的な情報)
- ・ [日本へ入国・帰国するすべての方へ ～日本の水際対策措置～](#) (9月7日更新)
- ・ [2022年経済再開・新型コロナウイルス関係情報](#) (3月1日更新)
- ・ [新型コロナウイルス危機の影響を受ける中小企業・NPO・労働者への支援策一覧](#) (12月15日更新)
- ・ [州保健局 新型コロナウイルス日本語ページ](#)

(注意点)

本情報は、ワシントン州の主要な行政機関や団体のウェブサイトの情報をもとに、その時点における当地日系企業・NPO・邦人労働者に役立つ情報を、皆様のご参考として迅速に日本語で届ける目的で発信しているものです。法的助言を構成するものではなく、法的助言として依拠すべきものではありません。実際の申請等に当たっては、該当するウェブサイトで最新の情報や詳細を直接ご確認ください。なお、当館として個別企業の申請書作成等の支援は出来かねますのでご容赦ください。

(免責)

本メール又は当館情報に関して生じた直接的、間接的、派生的、特別の、付随的、あるいは懲罰的損害および利益の喪失については、それが契約、不法行為、無過失責任、あるいはその他の原因に基づき生じたか否かにかかわらず、一切の責任を負いません。

(領事メールについて)

当館では外国に3ヶ月滞在される在留邦人に対し、旅券法に基づく在留届、帰国・転出等の届出をお願いしております。本届出でメールアドレスをご登録いただいた方に対して、コロナに

関する情報や各種安全情報を領事メールにてお送りしておりますほか、緊急時の安否確認を当館から行うためにも必要なものですので是非ご協力ください。詳細はこちらをご覧ください。

[https://www.seattle.us.emb-japan.go.jp/itpr\\_ja/zairyu.html](https://www.seattle.us.emb-japan.go.jp/itpr_ja/zairyu.html)

(Unsubscribe:本日系企業支援関係メールについて)

当館が把握しておりますワシントン州日系企業にお送りしております。今後、本メールが不要な方はその旨ご返信をお願いいたします。

\*\*\*\*\*

Consulate-General of Japan in Seattle

701 Pike Street, Suite 1000

Seattle, WA 98101

206-682-9107